



生産者さん おじやましませす

この時期しか作っていない、 素材の味そのままのローストビーフ

「滋賀県産牛ローストビーフ」



長野県
 農協直販(株)
 製造部副部長
 片桐さん

肉本来のおいしさを
 この商品は毎年、バルコープと大阪よどが市民生協の組合員さんだけのために、クリスマスと年末始用として作っています。
 そのままステーキで食べたいような少しサシが入ったきれいな滋賀県産牛のモモ肉に、シンプルなスパイス(塩・コショウ)のひきはバルコープさんの指定。昔ながらに、ロースターで表面を炙り旨みを閉じ込め、中がジューシーな味わいのローストビーフです。生に近いものを食べていただくので肉本来のおいしさが引き出されるシンプルな味付けや作り方にこだわっています。



ロースターの内部

整形し、塩コショウした滋賀県産牛肉をネットで巻き、ロースターで表面を焼きます

タレ1袋増量

お正月にも クリスマスにも



切り方のリーフレット付き

滋賀県産牛
 ローストビーフ 冷蔵
 290g(肉230g+ソース20g×3)
 お正月準備号
 (予約お届け)12月3回、4回、5回
 予約価格 1,980円



バルコープ
 商品部畜産担当
 河野

様々なお声をいただき毎年、少しずつ改善を重ねています。
 例えば、ご家族みなさんで召し上がるときにやわらかくスジが残らないようにこの組合員さんのお声から、肉の柵取りは、スライスしやすい形に向きを揃えて整形しました。また「スライスが難しい」のお声には、切り方のリーフレットをイラスト入りで同封することになりました。組合員さんと一緒に考えて、改善してきたローストビーフ。
 今年は、タレを1袋増量します。

声にこたえて

子どもがたっぶり
 つけて食べるので、
 タレが増えること
 良いな



タレを、今年は1袋増量します

昨年ご利用された組合員さんの声

- お正月はぜいたくしたいので、必ずこのローストビーフです。お肉もやわらかくスジも残らないので、ほんとおいしいです。
- たくさんあったので、半分はそのまま食べて、残りはパンにはさんで食べてん。肉がいいからおいしかったわ。
- このカタログ(「お正月準備号」)にしか載らないローストビーフ大好き!どの年代も食べやすい味や思うよ。4つ買って、親戚にもあげてるねん。

※予約は11月5日から11月19日(11月19日)まで
 配送する「お正月準備号」を
 ご覧ください



組合員さんの 第9回・第10回・第11回 岩手ボランティアバス報告

第10回 (9/14~17) 53名参加

被災した避難所を訪ねました。避難場所へ「高台へ」と指導者の言葉によって命が助かるかどうか掛かっている。とお話しは、保育者の私は忘れてはならない言葉だと思えました。子どもの命を預かっているに責任を持って、自分には関係ないと思っていたであろう私自身が恥ずかしいです。私にできることを探し、お手伝いしたいです。
 (守口市・浅田さん)



新割りのお手伝いも。

第11回 (9/21~24) 30名参加

大豆の種まきと新割りをしました。こんなものでボランティアになるのかどうか心配でしたが、長くボランティアをされている先輩たちの話を聞いて、1年半に及ぶ活動の一端を担っているんだと思つようになりました。瓦礫の処理や腐った魚の処理、清掃などのきつ仕事、積み重ねのあとで訪れたわけ、丸太との格闘で心地よい汗を流したことが、地元の方々に温かく迎えていただいたことに感謝します。
 (平野区・野村さん)

*写真と感想は同じ組合員さんとは限りません



NO.23

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

岩手では秋も深まり、紅葉の美しい里山になりました。遠野まごころネットでは、私たちの活動を後方から支援してもらっている遠野市民(岩手県内陸部)の方々に、沿岸・被災地の今の姿を知ってもらいたいと、先日(10/27)に「収穫祭」を開催しました。

収穫祭のきっかけは、まごころネットが福島県の「飯館(いいたて)かぼちゃ」(福島県で栽培できなくなった地元産品)の代理栽培を遠野で6月から始め、9月に初収穫できたことからです。
 陸前高田からは、組合員さんのボランティアバスで収穫いただき製品になった「小麦粉・粟種油」や「鮎の塩焼き」・「おがさん(おかあさんたちが作った)手芸品」など、他地区からは焼きサンマや鮭汁などの海の恵みなどを紹介・販売しました。

被災地の復興にはまだ時間がかかりますが、被災地の笑顔を味わい、復興への想いを語り合う一日となりました。

(NPO)遠野まごころネットに常駐する
 バルコープボランティア事務局・林さんより)



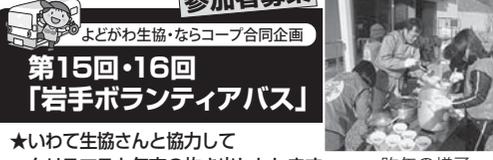
*大阪でできる支援「サンタクリスマス募金」チラシは11月19日から配布します。昨年に引き続きご協力をお願いします。
 *ボランティア活動報告もホームページに掲載しています。http://www.yodogawa.coop/info/shinsai

第9回 (9/7~10) 42名参加

陸前高田市での一日目は、地域の方々とイベントをし、私はグランドゴルフを教えてもらい、一緒にコースを回ったり、子どもたちと鬼ごっこをして遊びました。そのイベントを行った上野の広場も、津波の前は40軒も家が立ち並んでいたと地区会長さんが教えてくださいます

した。子どもたちが元気のびのびと走ったり、遊べる場所は(小学校のグラウンドは仮設住宅が建ち、狭いため)の上野の広場だけだと聞いて、大阪で当り前のことは、陸前高田では全く違っているということを実感しました。
 (守口市・久保さん)

参加者募集



第15回・16回 「岩手ボランティアバス」

★いわて生協さんと協力して
 クリスマスと年末の炊き出しもします 昨年の様子

企画回	実施日	申込締切
第15回目	12月23日(日)~12月26日(水)	11月30日(金)
第16回目	12月28日(金)~12月31日(月)	

【募集定員】各回20名(3生協で各回60名)
 1度参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】8,700円(ボランティア保険・宿泊費、食事代など含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)
 1日目 バルコープ本部(京橋)集合(18時)<車中泊>
 2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動(終日)<宿舎泊>
 3日目 ボランティア活動(午前)、被災地視察(午後)<車中泊>
 4日目 バルコープ本部前到着(9時頃)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。複数名参加可。
 *ボランティアの内容は、現地での要請に基づいて活動します。
 *持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します。
 *天候不順により中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】バルコープ理事会室
 ☎06-6242-0904 (月~金 9時~18時)